

第2章
まちづくり重点戦略

第2章 まちづくり重点戦略

将来都市像「海に山に大地に 学びと出会いが織りなす 共生・創造都市 上越」の実現に向けて必要不可欠であり、今後8年間で重点的・戦略的に推進する政策として、5つの「まちづくり重点戦略」を提示します。

今後想定される社会経済情勢下において、特定のインフラ¹⁹や施設整備のみによって政策実現を図ることは、実現性、実効性の両面から見ても極めて困難です。したがって、このまちづくり重点戦略では、既存の地域資源¹⁷の潜在能力を引き出すことを意識するとともに、複数の分野横断的な取組を同時または連続的に実施する戦略的な編成によって、効果的・効率的なまちづくりを推進します。また、インフラや施設整備に係る事業については、それらを推進するために不可欠なものに絞っためりはりのある政策とします。

● まちづくり重点戦略のねらい

① 地域の総合力を高める

地域における教育、福祉、防災、防犯等の課題に対して、対症療法的に取り組むだけでなく、それらの課題の様々な発生要因に向き合い、市や市民が連携して地域の総合力を高めていくとともに、その取組を通じて市民が生きがいを感じることを目指します。

② 上越市ならではの豊かな暮らしを実現する

健康や環境に関する問題など、市民一人ひとりの日常生活の積み重ねがその問題の一要因となっている課題に対して、健康づくりや環境保全などにつながる行動が組み込まれた新たなライフスタイルを提案し、その実践を支援することによって、市民と共に上越市ならではの豊かな暮らしづくりを目指します。

③ 人材の定着や回帰を目指す

上越市に愛着と誇りを持ち、上越市に住み続けたいと思う気持ちを持った子どもたちを育む教育や、市民が多様ななりわい²⁸を生み出す力を発揮し、実践できる環境づくり（多様な交流人口の増加など）を推進することによって、当市への人材の定着や回帰が進み、さらには新しい人材が集まってくるような魅力的なまちを目指します。

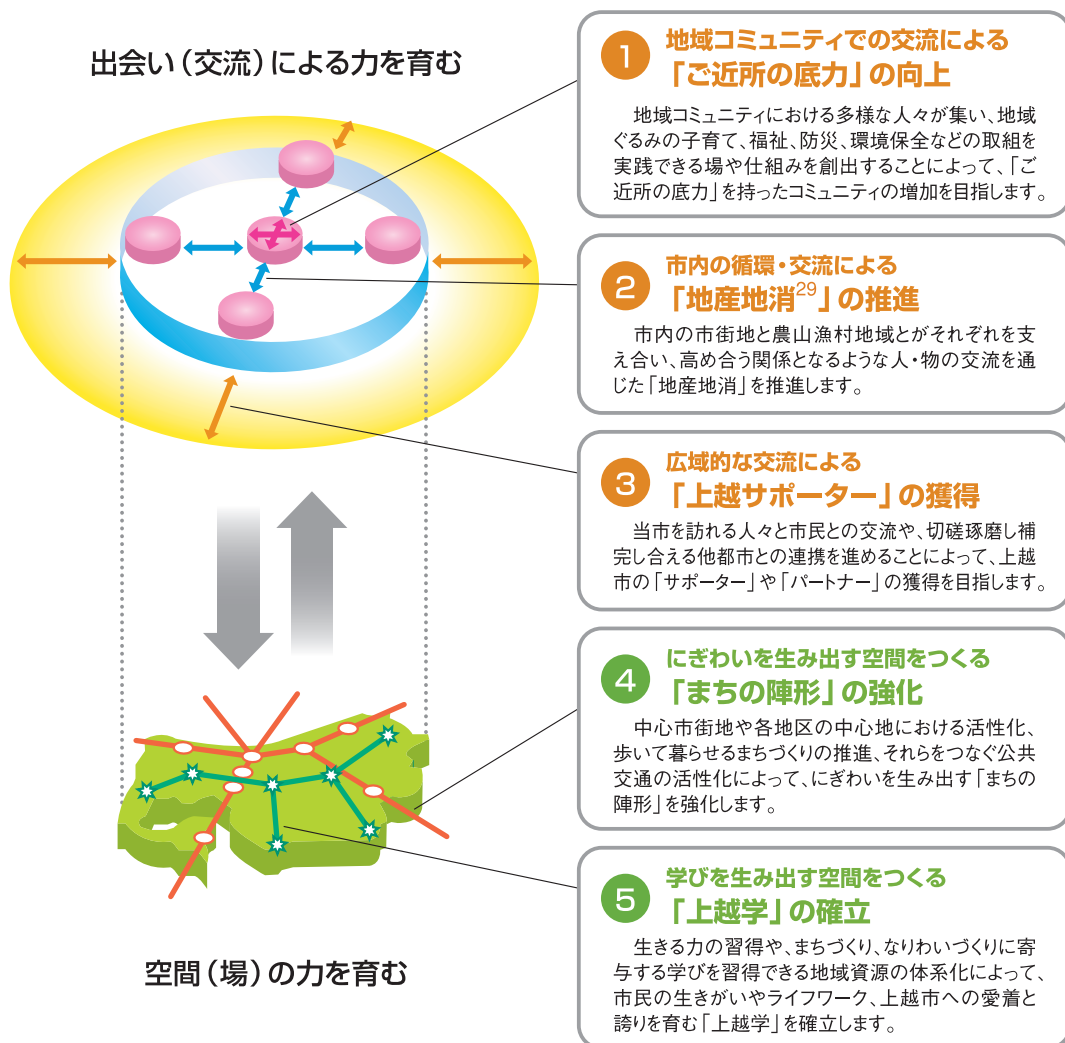
④ 抜本的な行財政改革を実現する

複数の施策を同時または連続的に実施することによって、相乗効果が発揮される効果的・効率的なまちづくりを推進するとともに、上記①～③の推進によって市民や地域社会が抱える課題を軽減し、その結果として抜本的な行財政改革が実現されることを目指します。

● まちづくり重点戦略の概要

「海に山に大地に」育まれた当市の豊富な地域資源¹⁷を活用し、「学び」（学習）や「出会い」（交流）の推進とそのため基盤づくりを重点的かつ継続的に行う5つの戦略によって、当市の“足腰”を鍛え、中長期的な視点から優秀な人材や多様ななりわい²⁸、課題解決の手法などが「創造」されるポテンシャル（潜在能力、可能性）を高めます。

- 地域コミュニティ内、市内及び市域を越える広域的な範囲で、重層的な人の出会い（「交流」）を推進し、様々な創造のポテンシャルを高める3つの戦略を提示します（戦略①～③）。
- この3つの戦略をより強固なものとするため、豊かな学びとにぎわいを生み出す空間を構築し、様々な活動の舞台となる「場」の力を育む2つの戦略を提示します（戦略④・⑤）。
- これらの戦略を推進することによって、交流が場の力を強固にし、場の力が交流を盛んにする好循環を生み出しながら、それぞれが織りなす相乗効果をあらゆる分野に発揮させ、上越市ならではの豊かな暮らしを実現します。

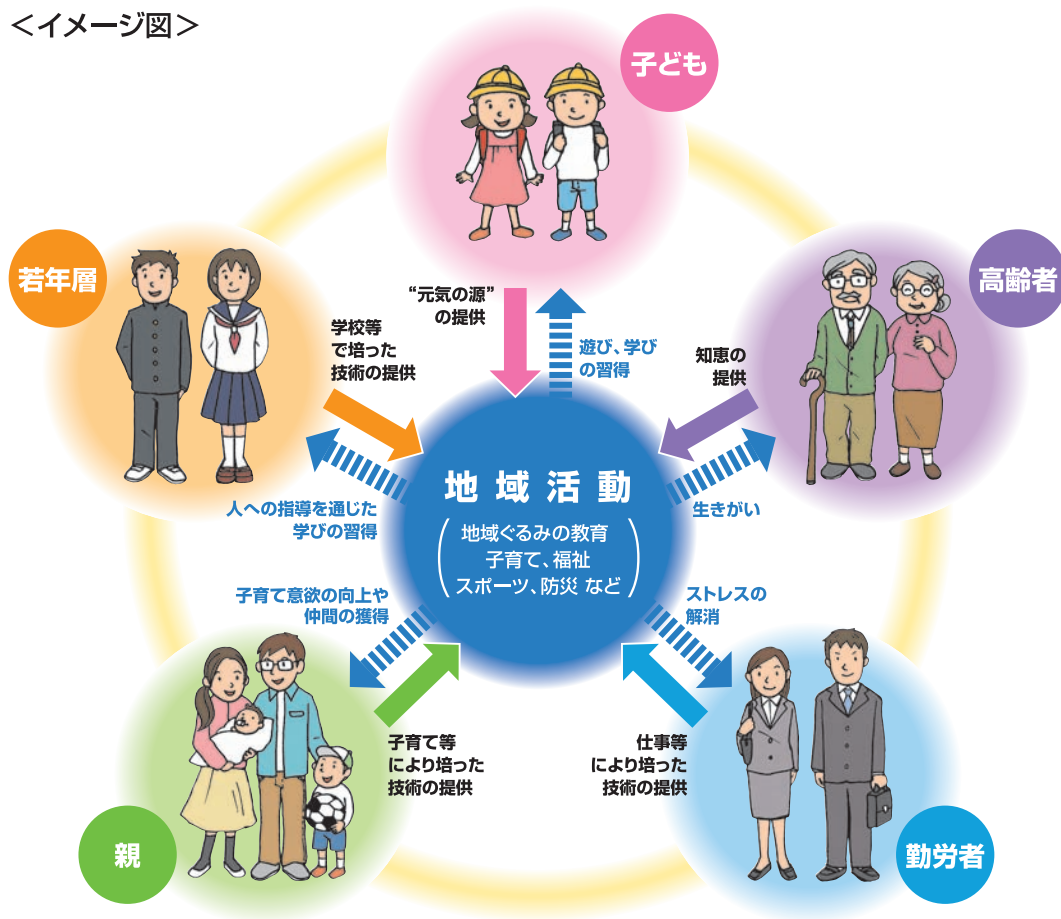


1 地域コミュニティでの交流による「ご近所の底力」の向上

地域コミュニティにおける防犯や防災、生活環境などに関する課題に加え、一人ひとりが抱える子育てや福祉、健康づくりなどの課題についても地域全体の課題としてとらえ、男性も女性も、老いも若きも、障害のある人もない人も、多様な人々が集い、共に刺激を受け、知恵を出し合い、力を合わせることによって、それらの課題の克服や理想の実現に寄与できる場や仕組みを創出します。

このことによって、一人ひとりの持つ能力が地域コミュニティの中で発揮され、そのことを生きがいに感じる人々が増えるとともに、多様な人々の相互理解が進むことによって、やさしさと力強さを兼ね備える「ご近所の底力」を持った地域コミュニティが増えていくことを目指します。

<イメージ図>



<重点プロジェクトへの展開> → p.96

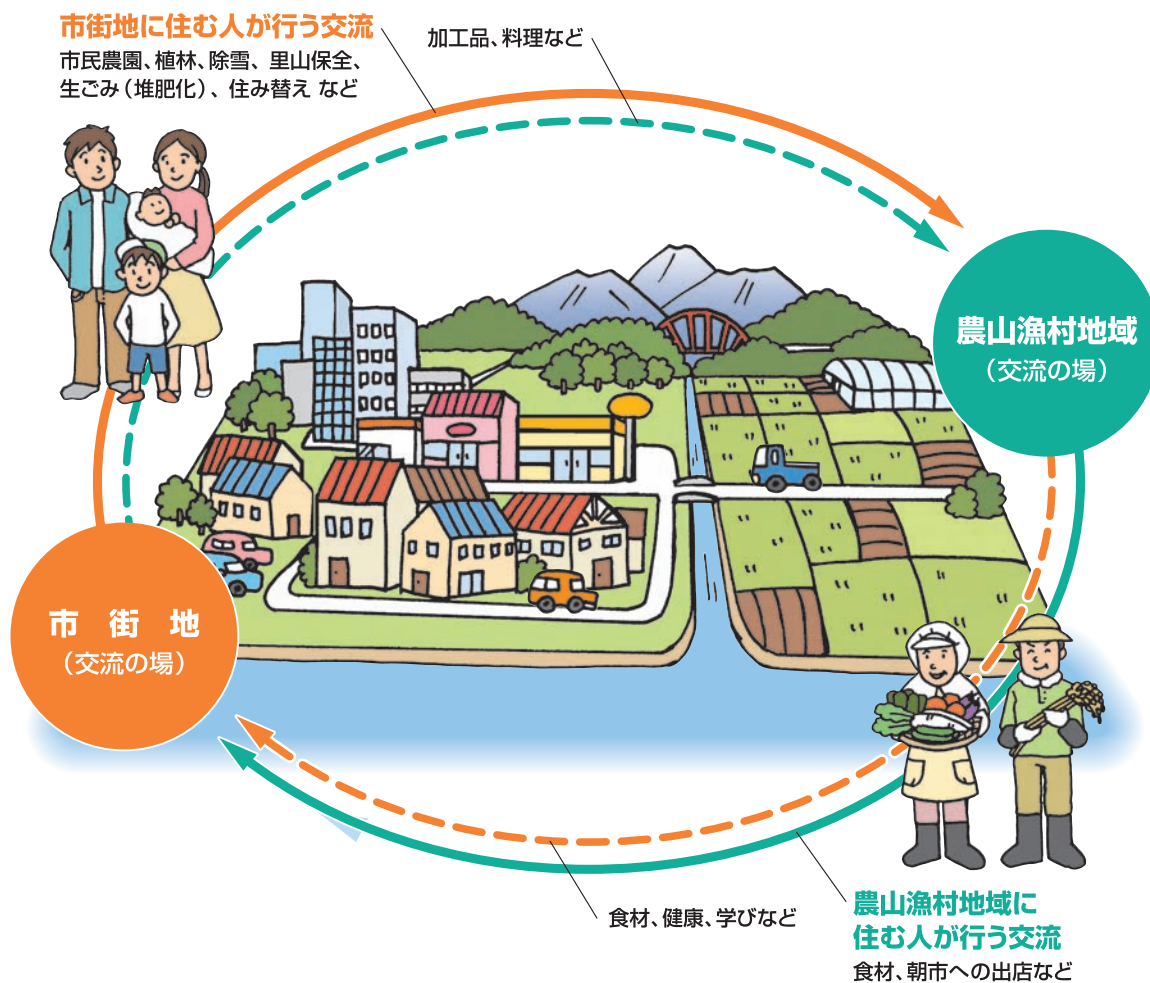
- 1 地域ぐるみの課題解決プロジェクト
- 2 子どもが主役のコミュニティプロジェクト


2 市内の循環・交流による「地産地消²⁹」の推進

環境、地域経済、教育、福祉などの視点から海・山・大地の持つ多様な価値を積極的に引き出し、市内の市街地と農山漁村地域とがそれぞれを支え合い、高め合う関係となるような人・物の交流や「地産地消」を推進します。

このことによって、市民が「市街地あつての農山漁村地域、農山漁村地域あつての市街地」であることを再認識し、市内の一体性を育むとともに、自然や農に親しむ魅力的なライフスタイルを実践する人々が増えていくことを目指します。

<イメージ図>



<重点プロジェクトへの展開>  p.98

- 1 循環による価値向上プロジェクト
- 2 交歓による助け合いプロジェクト

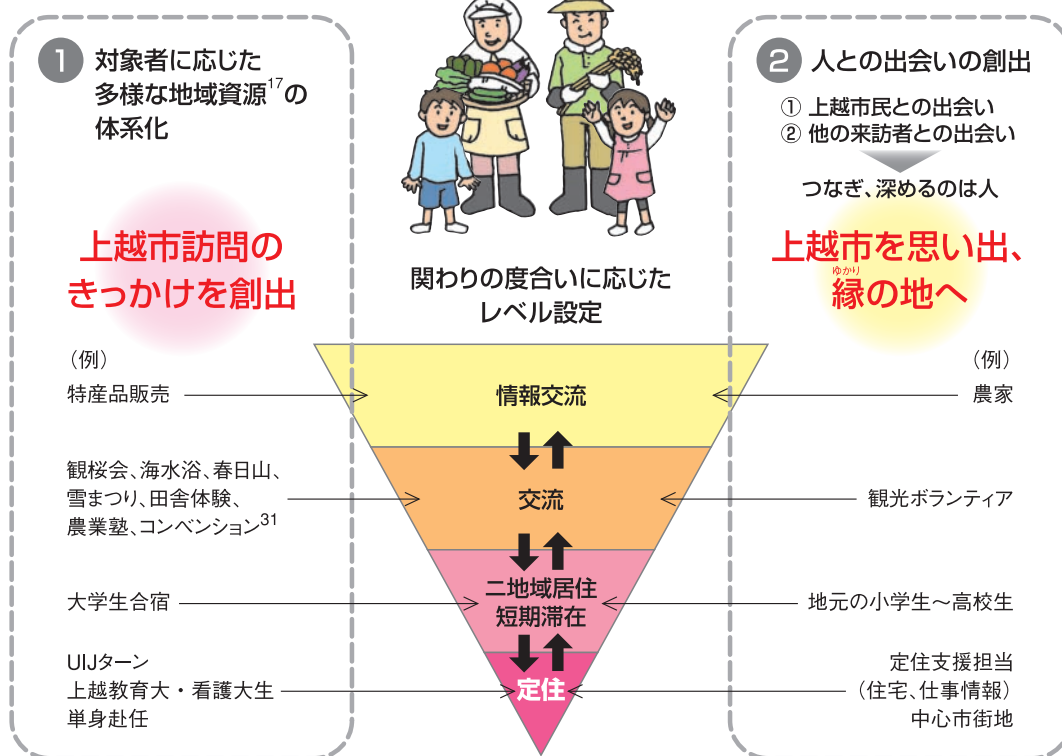
3 広域的な交流による「上越サポーター」の獲得

様々な目的を持って当市を訪れる人々に対し、その他の来訪者や市民との交流機会を創出し、その出会いや交流が当市への印象を深め、さらなる関係へとつながるような誠意あるおもてなしを行います。対象者には、観光客にとどまらず、出張者、帰省客などの多様な来訪者に加え、大学生や単身赴任者などの一時的な居住者も想定し、情報交流・交流・二地域居住³⁰・定住の相互連携を円滑に推進します。

一方、当市が有する特性や重点的に取り組むテーマについて、切磋琢磨し補完し合える他都市との連携を進めるなど、まちとまちとの交流も推進します。

このことによって、観光・交流関連産業の活性化に加え、当市をお気に入りのまちとする「ファン」や、当市のまちづくりを様々な側面から支援する「サポーター」、人やまちを共に育み支え合う「パートナー」が増えていく状態を目指します。

<イメージ図>



<重点プロジェクトへの展開> → p.100

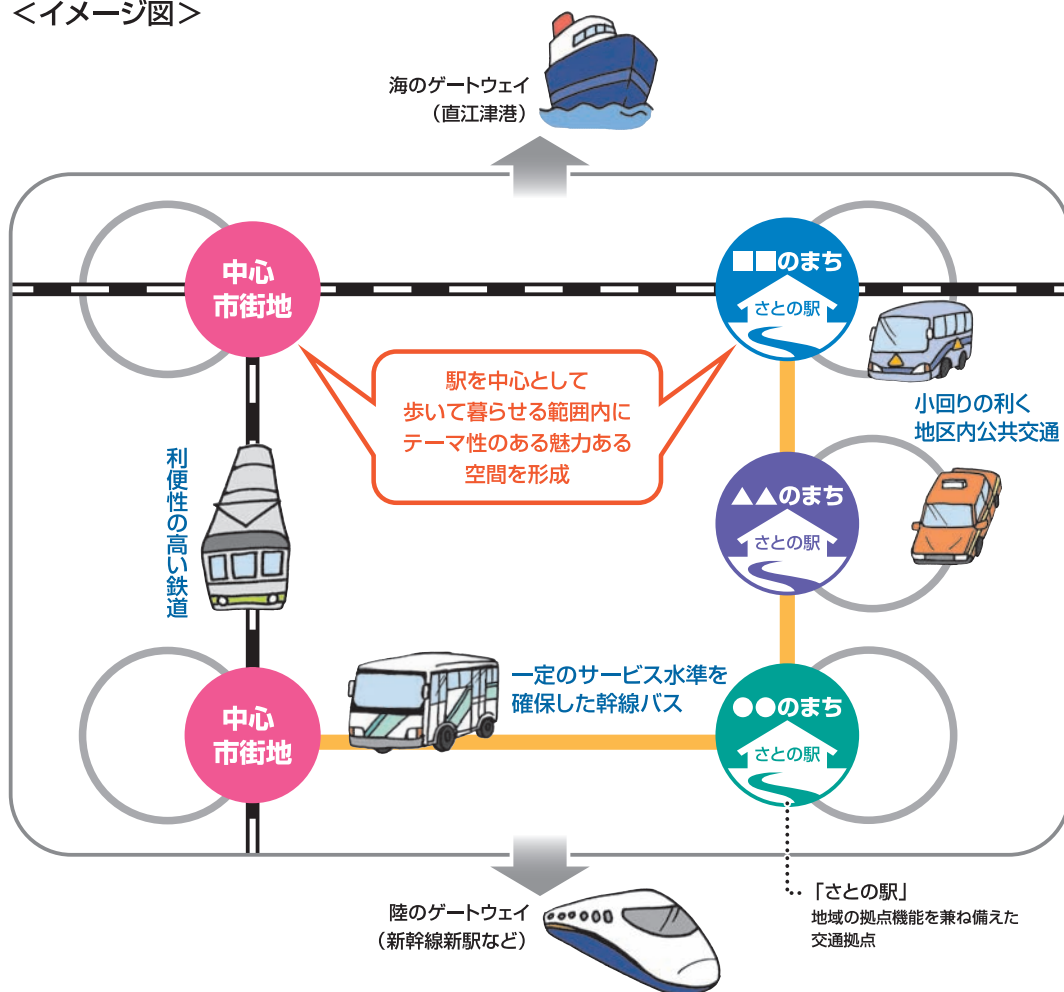
- 1 ちょこっと上越・おためしプロジェクト
- 2 じっくり上越・ほんもの体験プロジェクト
- 3 広域的都市連携プロジェクト

4 にぎわいを生み出す空間をつくる「まちの陣形」の強化

市内各地区が個性をいかすことによって、歩いて楽しく、にぎわいの要素を持ったまちの中心的空间を創出します。また、それらを有機的に結んだ交通ネットワークを上越市の骨格と位置付け、一体的な構築を行います。

このことによって、機能的な公共交通ネットワークが確保され、市内の各地区を円滑に移動・交流できる状態を確保するとともに、人の密度が高いにぎわいのある空間が創出され、各地区の個性を守り育てることができるよう、「まちの陣形」を強化します。

<イメージ図>



<重点プロジェクトへの展開> → p.102

- 1 まちなか公共空間再生プロジェクト
- 2 地域の茶の間再生プロジェクト

5 学びを生み出す空間をつくる「上越学」の確立

市内に存在する多様な地域資源¹⁷を活用することによって、生きるために必要な食や環境などに関する知識、当市の魅力や個性、まちづくりの課題についての知識、発想力や専門性を強化するなりわい²⁸を生み出す知識などについて、気軽に楽しみながら、または潜在的に学べるようなテーマ設定やカリキュラム³²づくり、環境づくりを行います。

このことによって、一人でも多くの人々がこれからの時代を生きていくために必要な力やライフワークを習得しつつ、地域資源とのかかわりを通じて地元への愛着と誇りを育むことのできるような「上越学」を確立します。

<イメージ図>



<重点プロジェクトへの展開> → p.104

- 1 上越キッズスクールプロジェクト
- 2 上越まるごとキャンパスプロジェクト